

学童保育を対象としたコンテンツ管理システム

館澤 千尋 岡本 東 堀川 三好 菅原 光政

岩手県立大学ソフトウェア情報学部

1. はじめに

現在 Web 上では膨大な情報が公開されており、更新情報の配信には RSS や Atom などの XML ベースのフィード（以下、XML フィード）が用いられている。しかし、一般に使われている XML フィードは不特定多数向けであり、情報の配信対象は考慮されていない。

また、母子・父子家庭や共働きの増加により学童保育の需要が高まってきている。その中で、伊吹山¹⁾は学童保育事業における事務支援システムを開発した。これにより、事務処理の負担の削減と、学童保育事業に関わる者間でコミュニケーションを図れる場が作成されたことにより円滑な情報交換が可能になった。しかし、地域住民などの学童保育に対する認知度は低く、活動内容などに疑問を抱く人は多い。

そこで岩手県学童保育連絡協議会（以下、県連協）と県内の各学童保育所が連携したサイトの作成支援をし、配信対象を考慮してシステム利用者に更新された情報を配信できる、コンテンツ管理システムを開発した。

2. 学童保育事業

2.1 学童保育所とは

学童保育所（以下、保育所）とは小学校に通っている学童が放課後に生活する施設のことです。全国に 15,857 箇所あり、入所している児童数は 704,982 人となっている²⁾。岩手県内においては 35 市町村に 200 箇所以上の保育所がある。

2.2 学童保育所の現状と問題点

学童保育に関する情報公開を行っている Web サイトについて調査したところ、都道府県連絡協議会では 12 件、市町村・区連絡協議会では 42 件、保育所では 100 件以上存在した。しかし、この中に岩手県内のものは含まれなかった。このことから保育所の認知度や理解度などは地域において格差があるといえる。

しかし、各保育所で情報公開のためのサイトを開設する場合、保育所を理解してもらえる可能性がある一方で、サイト作成のための知識が必要になる。また、コンテンツ管理システム（CMS：Content Management System）があるが、学童保育所の運営形態は公営、運営委員会、社会福祉協議会など様々あるため、一律に導入するのは困難である。保育所を統括する県連協や各保育所は少人数で運営されていることから、サイト運営が県連協や保育所職員の負担となってしまう。

さらに、県連協と各保育所の職員、入所者の保護者、地域住民などが学童保育に関係しており、必要な情報はそれぞれ異なる。また、システム管理者である県連協職員は常に更新状況を把握し、公開に相応しくない情報があった場合は修正や削除を行う必要がある。しかし、更新頻度やその内容は保育所によって異なり、県連協で通常業務の合間に各保育所のサイトを巡回して更新内容を確認するのは負担となってしまう。

3. システムの概要

3.1 システムの目的

前述の問題を解決するために、「学童保育情報サイト作成支援機能」と「配信対象別フィード生成機能」を持つコンテンツ管理システム（図 1）を開発した。学童保育情報サイト作成支援機能を用いることによって、専門的な知識がなくても、県連協や保育所の職員が公開したい情報を入力するだけで、県連協を中心に統合された情報サイトが構築でき、組織間の情報共有が促進される。また、配信対象別フィード生成機能は、更新情報の配信範囲を考慮して、認証と XML フィードの動的生成、学童保育情報サイトのシンジケート（様々なサイトが発信するコンテンツ情報の集約）を行う。これによって利用者ごとに更新された情報を配信することができる。

3.2 学童保育情報サイトの実装

学童保育情報サイトは県連協管理者が保育所の名称などの基本情報とその保育所のサイトを

Content management system for schoolchildren after school hours

Chihiro Tatesawa, Azuma Okamoto,

Mitsuyoshi Horikawa, Mitsumasa Sugawara

Faculty of Software and Information Science,
Iwate Prefectural University.

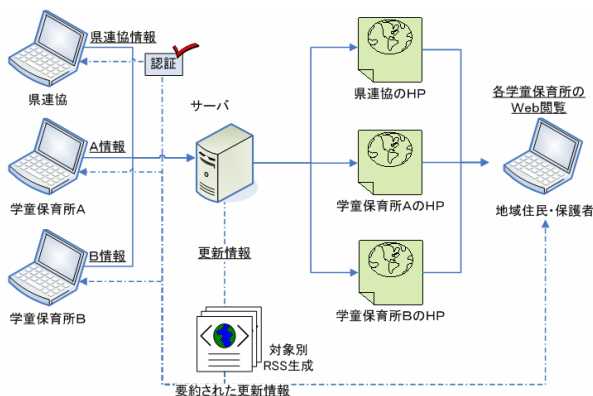


図 1 システムの全体図



図 2 学童保育情報サイトの実行画面

管理するユーザの登録を行うだけで保育所のサイトを開設することができる。

コンテンツやフォーマットは統一されているが、各保育所で紹介文や行事予定、画像などを登録することにより保育所の特徴を表現することが可能である。また、掲示板を用いて他の保育所職員と意見交換を行うことや、保育所から保護者や地域住民へのお知らせを公開することで、保育所職員、保護者や地域住民のコミュニケーションの円滑化を図ることができる。

3.3 配信対象別フィード生成機能

3.3.1 RSS について

本研究では更新情報の配信に RSS を用いる。RSS (RDF Site Summary) とは軽量で多目的な拡張性のあるメタデータやシンジケーションフォーマットのことで、W3C が定義した RDF 仕様書に従った XML アプリケーションである³⁾。主にサイトの更新情報を公開するのに使われている。

現在、Web 上では膨大な情報が公開されているが、その更新頻度は様々であり、公開されている情報の活用方法もユーザによって様々である。さらには、更新された情報がユーザの必要としている情報であるかどうかは実際にサイトに訪問するまでわからない。そこで用いられるのが RSS である。

3.3.2 配信対象別フィード生成機能の実装

配信対象別フィード生成機能では学童保育情報サイトの更新内容を RSS を用いて配信する。更新内容は管理者のみでなく、各保育所や一般ユーザにも配信するが、管理者と一般ユーザとは配信内容を変え、管理者用の RSS フィードにおいては認証を用いて一般ユーザには見えないようにした。

4. システムの実行例

図 2 のように必要項目を入力して登録するだけで各保育所のサイトで登録内容が公開される。また、RSS 読み込みの際にも更新された内容が

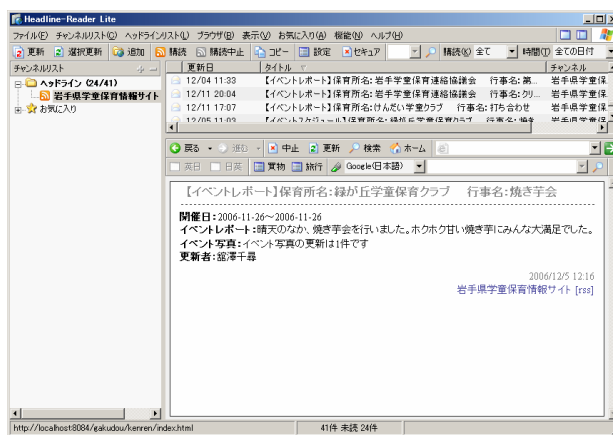


図 3 RSS リーダーによる更新情報の表示

反映され、RSS リーダーを用いると図 3 のように更新情報が配信され、各保育所のサイトを巡回しなくても更新情報の把握が可能となった。

5. おわりに

本研究では岩手県内の学童保育所を対象として情報サイトの構築と更新情報の要約・配信を行うコンテンツ管理システムを開発した。これにより、研究目的である組織間の情報共有の促進と配信範囲を考慮した更新情報の配信が可能となった。今後の課題として、昨年度伊吹山が開発した事務支援システムとの連携や、緊急連絡などのメール配信機能の追加、保育所独自のコンテンツをサイトに組み込めるようにするなどが挙げられる。

参考文献

- 1) 伊吹山香理, 岡本東, 堀川三好, 菅原光政: 「学童保育事業における事務支援システム」, 情報処理学会第 68 回全国大会講演論文集, 分冊 4, pp.591-592 (2006)
- 2) 厚生労働省, <http://www.mhlw.go.jp/>, (2006/05/01)
- 3) RDF Site Summary (RSS) 1.0, <http://web.resource.org/rss/1.0/>, (2000/12/06)